

ブラジル金融政策（2024年6月）

昨年8月から続けてきた利下げを停止

2024年6月20日

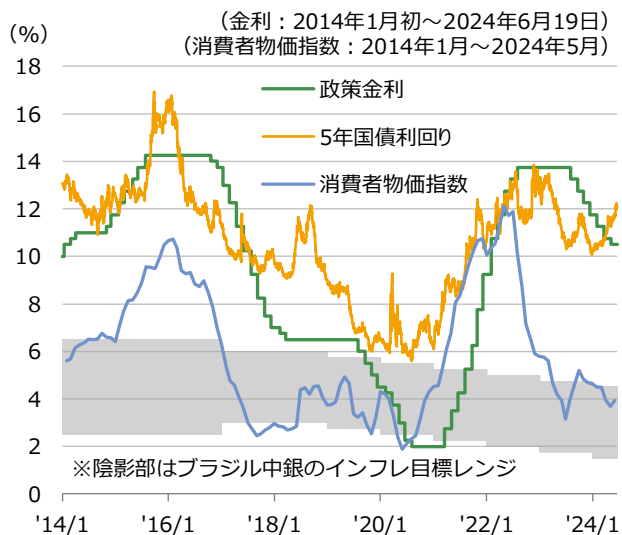
当面は政策金利を据え置き、インフレ期待の低下を待つ局面か

ブラジル中央銀行は6月18～19日（現地）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を10.50%に据え置くことを決定しました。同行は昨年8月から連続で利下げを実施してきましたが、①米国の利下げに関する不確実性の高まり、②労働市場をはじめ想定以上に強い国内経済、③財政政策の不透明感など、国内外の材料が重なりインフレ期待が高まったことを受けて、利下げを停止しました。

声明文でブラジル中銀が示したインフレ率の予想は、エコノミスト調査に基づく政策金利（今年末：10.5%、来年末：9.5%）などを前提に今年末が4.0%、来年末が3.4%であり、インフレ目標の中心（3%）を明確に上回っています。他方、予測期間を通して政策金利を据え置くとインフレ率は今年末が4.0%、来年末が3.1%になるという代替シナリオも示しており、この場合だと目標に近くなります。ここから示唆されるのは、インフレ目標の達成に向けては利上げに転じる必要性が乏しく、しばらく政策金利を据え置くことでインフレ期待が低下すれば利下げを再開する可能性が高まるということでしょう。

今回の決定は、ルラ政権下で指名された金融緩和に積極的とみられる委員4名（前回会合では多数派よりも大幅な利下げを主張）も賛成し、全会一致となりました。また、声明文には最近の財政政策を巡る動きが「金融資産」に与える影響も注意深く監視すると新たに記されています。こうしたブラジル中銀の姿勢は、足元で弱含んでいるブラジル・レアルの下支え要因になると期待されます。

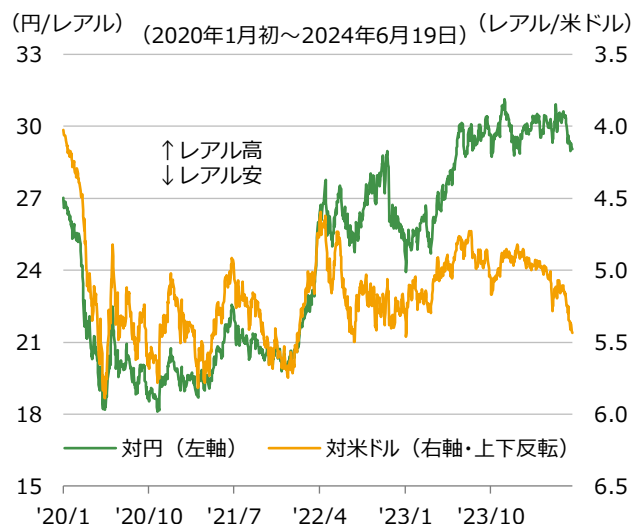
ブラジルの金利とインフレ率



※消費者物価指数は前年同月比

(出所) ブルームバーグ、ブラジル中央銀行

ブラジル・レアルの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management